



INDEX

日本教育工学会 第29回全国大会のお知らせ(第三報)	2
2013年 日本教育工学会 夏の合宿研究会 案内(最終報)	10
研究会の開催「テーマ:大学教育への教育工学的アプローチ」	13
研究会の発表募集「テーマ:新時代の学習評価」	15
研究会の開催報告「テーマ:教育研修の設計と評価」	15
日本教育工学会論文誌 特集号 論文募集	16
「特集:1人1台端末時代の学習環境と学習支援」のご案内(第二報)	
新入会員	18

日本教育工学会 第29回全国大会のお知らせ（第三報）

大会 Web ページ : <http://www.jset.gr.jp/taikai29/>

日本教育工学会第29回全国大会を、下記のように秋田大学 手形キャンパスにおいて開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。また、研究発表にも奮ってご応募下さい。

1. 開催期日・会場

期日:2013年09月20日(金)～23日(月) (20日(金)は授業公開とワークショップのみ)

会場:秋田大学 手形キャンパス 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/access/index.html>

2. 大会日程（予定）

09月20日(金)		
14:00～14:45 秋田大学附属小学校授業公開（授業公開は大学内の臨床型模擬授業教室で行います。ワークショップの一つとして事後検討会を行う予定です。詳細は後日お知らせいたします。）		
17:00～19:00 ワークショップ		
※ 09月20日(金)は、大会の受付はありません。		
09月21日(土)	09月22日(日)	09月23日(月, 祝日)
08:15～17:00 受付	08:30～17:00 受付	08:30～15:00 受付
09:00～11:00 一般研究発表1 (口頭発表)	09:00～11:40 一般研究発表3 (口頭発表)	09:00～10:40 一般研究発表4 (口頭発表)
11:10～12:30 一般研究発表1 (ポスター発表)	11:50～13:10 一般研究発表3 (ポスター発表)	10:50～12:30 一般研究発表5 (口頭発表・ ポスター発表)
12:30～14:00 昼食, 理事会 企業ランチセッション	13:10～14:10 昼食, 各種委員会	12:30～13:30 昼食
14:15～16:15 シンポジウム チュートリアルセッション	14:10～15:10 全体会 (表彰, 会長講演)	13:30～16:00 課題研究発表
16:30～18:30 一般研究発表2 (口頭発表)	15:20～17:50 トークセッション	16:10～ 大会企画委員会
18:00～20:00 懇親会		
10:00～18:00 企業展示	09:00～14:10 企業展示	
* プログラム編成によっては、時間帯が若干変わることもあります。		
* 企業展示が第1日目, 第2日目に開催されます。ぜひ見学にお立ち寄り下さい。		
* 特に、初日昼休みには、無料ランチ付きの企業ランチセッションを開催します。		

託児所の提供について

前回大会に引き続き、大会期間中、託児所を提供する予定です。料金等、詳細は検討中です。決まり次第、ニューズレター、ホームページ等でお知らせいたします。

3. 今大会での注目点，前回大会からの変更点

- ・ 09月20日（金）に，ワークショップと秋田大学附属小学校の授業公開を開催します．ただし，大会受付は09月21日（土）から行います．秋田大学附属小学校授業公開は，大学内の臨床型模擬授業教室で行います．ワークショップの一つとして事後検討会を行う予定です．
- ・ 教育工学選書が発刊されたことを記念して，チュートリアルセッションを開催します．
- ・ 前回大会に引き続き，トークセッションを開催します．
- ・ 参加費は，CD-ROM版の講演論文集込みの価格となります．
- ・ 事前申し込みされた方は，大会講演論文集を，大会初日の約1週間前（09月13日（金）を予定）からWebサイトからダウンロード可能になります．そのため，講演論文集の発行日は，ダウンロード可能になる日になります．
- ・ 提出された原稿のPDFは，学会がWebサイト等に掲載することを許諾して頂きます．
- ・ 全国大会の原稿は，一定のレベルで完結した内容であることを求めます．「結果は当日会場で発表する」等の書き方はしないで下さい．大会企画委員会で判断し，修正を求める場合があります．
- ・ 前回大会と同様，企業ランチセッションが初日の昼に行われます．企業ブースへの出展企業から各3分程度のプレゼンテーションをして頂きます．参加者には，先着150名程度（予定）にランチを提供いたします．
- ・ 企業展示スペースでは，09月21日（土）にババヘアアイス，09月22日（日）に稲庭うどんを無料で配布いたします．この機会に，企業展示スペースにお立ち寄りいただき，ご賞味下さい．

4. シンポジウム，チュートリアル，トークセッション

シンポジウム，チュートリアル，トークセッションの内容は検討中です．決まり次第，大会Webページならびにニューズレターに詳細を掲載いたします．

5. 課題研究

公募で寄せられたテーマを含めて大会企画委員会で検討した結果，次の10件のテーマを予定することになりました．発表希望者にプロポーザルを提出していただき，大会企画委員会が発表の可否を決定いたします．各課題について十分に討論することを目的としていますので，発表者は，発表だけで退席することなく，最後の総合討論に参加しなければなりません．この点にご留意下さい．なお，趣旨文等は，大会Webページをご覧ください．

- K-01 システム開発・新技術の利用：学びを拓げる情報環境
コーディネータ：飛弾信崇（ベネッセコーポレーション），江木啓訓（神戸大学）
- K-02 協調学習支援とシステム開発（ものづくり）の接続：学習観とシステムデザインを介して
コーディネータ：舟生日出男（創価大学），鈴木栄幸（茨城大学）
- K-03 教育・学習支援システムにおける Learning Analytics 的アプローチ
コーディネータ：緒方広明（徳島大学），森本康彦（東京学芸大学）
- K-04 継続的な教師の成長を促す授業研究と学校組織
コーディネータ：後藤康志（新潟大学）・寺嶋浩介（長崎大学）
- K-05 初等中等教育における情報教育・ICT活用
コーディネータ：森下耕治（光村図書），豊田充崇（和歌山大学），稲垣 忠（東北学院大学）

■K-06 メディア活用によって生じる問題・モラル

コーディネータ：長谷川元洋（金城学院大学）、藤川大祐（千葉大学）

■K-07 高等教育における教育工学的取組み

コーディネータ：渡辺雄貴（首都大学東京）、松河秀哉（大阪大学）、根本淳子（熊本大学）

■K-08 学び続ける教師の養成と保証

コーディネータ：益子典文（岐阜大学）、姫野完治（秋田大学）

■K-09 ゲーム型学習の導入と実践の評価

コーディネータ：藤本 徹（東京大学）

■K-10 インフォーマル・ラーニング、オープン・エデュケーション

コーディネータ：黒田 卓（富山大学）

6. 一般研究（口頭発表とポスター発表）

一般研究発表は以下のテーマのセッションで行われます。一般研究発表は、口頭発表とポスター発表に分かれます。どちらの発表も同じ一般研究発表であり、口頭発表とポスター発表に質的な優劣はありません。発表目的に合わせてご選択下さい。なお、プログラム編成の都合上、口頭発表とポスター発表の発表形式のご希望に添えない場合があるかもしれません。ポスター発表の枠を増やした場合、口頭発表で申し込まれていてもポスター発表になる場合もあります。予めご了承下さい。ポスター発表者は、発表セッションの時間帯は、ポスター前で説明及び討論に従事しなければなりません。全てのポスター前に机を設けますので、適宜使用することができます。インターネット環境は整備していませんので、必要な場合は、各自でご準備下さい。

(1)語学教育・国際理解 (2)情報教育(情報活用能力の育成等) (3)情報モラル (4)教科指導における ICT 活用 (5)メディア教育・メディアリテラシー (6)教師教育 (7)特別支援教育 (8)生涯学習 (9)企業内教育 (10)看護・福祉教育 (11)教育評価・データ解析 (12)授業研究 (13)授業設計・実践 (14)高等教育の教育方法・FD (15)教育ソフトウェア開発・評価 (16)学習コンテンツ開発・評価 (17)遠隔教育・遠隔学習 (18)知的学習支援システム (19)認知と学習 (20)教育メディア (21)e-Learning (22)e ポートフォリオ (23)協調学習と協調作業 (24)ワークショップ (25)ソーシャルメディア (26)その他

7. International Session（口頭発表）

発表及び質疑応答が英語で行われます。本セッションは、教育工学研究の国際化に対応するものであるとともに、特に若い研究者に対しては、国際学会等での研究発表や討論を有意義なものとするための体験を提供する機会でもあります。発表は一般研究の口頭発表のいずれかのセッションと同じ時間帯で行われます。

8. ワークショップ

ワークショップは大会企画委員会が中心となって開催します。このワークショップは、参加者が設定した教育工学に関連するテーマについてインフォーマルに語りあう場です。実践は進んでいるもの研究として認識されていない問題や、新しい情報技術の教育利用などの萌芽的な研究について議論を行っていただくことを考えております。ワークショップは主催者主導で進行していただきます。また、予稿の用意は必要ありません。なおプログラム集には、ワークショップのテーマ名・主催者/共催者名・概要が掲載されます。

テーマは公募といたします。会場の都合から、大会企画委員会では7～8件程度を上限として採択いたします。予めご了承下さい。議論を通じて、教育工学に関心を持つコミュニティが作られ、発展していくことを期待しています。積極的なご応募をお待ちしております。

応募のスケジュール：

06月07日（金）～07月04日（木） ワークショップ テーマ受付期間

07月18日（木） ワークショップ テーマ決定（応募多数の場合、採否結果通知を致します）

応募方法・応募先：

電子メールにて、ワークショップ主催者と共催者の氏名、ご所属、メールアドレス、ワークショップ名と概要（300字程度）を大会企画委員会ワークショップ担当（taikai2013-ws@jset.gr.jp）までお送り下さい。

なお、件名は「ワークショップ応募」として下さい。

9. 発表時間

発表時間は以下の予定です（発表件数に応じて変わる場合があります）。

[課題研究] 課題研究の趣旨説明 10分 研究発表各 15分 総合討論 1時間程度

[一般研究] <口頭発表>発表 14分 質疑応答 5分（昨年と同じです）

<ポスター発表>各セッション 80分（昨年から変更されています）

[International Session] 発表 14分 質疑応答 5分

10. 発表内容の撮影、録音、録画等について

発表者、参加者の双方に次のことをお願いいたします。

- 1) 発表者は参加者が発表内容を撮影、録音、録画する可能性のあることを承知の上で発表して下さい。参加者に記録されると問題が生じる可能性のある場合には、発表者自身が参加者に記録しないよう指示して下さい。
- 2) 撮影、録音、録画したものについて、日本国の著作権法が規定している範囲以外で利用される場合は、発表者の許可をとって下さい。
- 3) 大会スタッフが記録用写真やニューズレター用写真を撮影します。撮影を拒否される方は、記録係のスタッフに撮影しないようお伝え下さい。

11. 大会までのスケジュール

06月27日	木	課題研究発表申込書・プロポーザル（2～4ページ）提出締切
07月04日	木	ワークショップ テーマ受付締切
07月11日	木	課題研究採否決定通知
07月18日	木	ワークショップ テーマ決定
07月23日 17:00	火	発表者の参加費事前送金締切（クレジットカード払い、郵便振込共に） 課題研究発表原稿（2又は4ページ）提出 一般研究発表／International Session 申込書・原稿（2ページ）提出 ※17:00が最終締切時刻となります。原稿の差し替えは、07月30日（火）17:00まではWeb上で可能です（電子メールによる差し替えは認められません）。
07月30日 17:00	火	提出原稿の差し替え締切 （17:00厳守。この時刻以降の原稿の提出は一切受け付けません）。
08月27日	火	発表者以外の参加費等事前送金期限（クレジットカード払い、郵便振込共に） （それ以降は送金しない）

12. 大会への発表申し込み等

(1) 発表者の資格

- ・ [発表者]は、本学会の会員に限ります。ただし、会員以外が連名者となることは、差し支えありません。ここでいう[発表者]とは、ファースト・オーサーあるいは連名者という意味ではなく、大会当日発表される方を意味します。この会員には、発表申し込み時に入会される方も含みます。
- ・ 発表原稿受付の段階で[発表者]が年会費を納入されていない場合には発表原稿を受け付けません。また、[発表者]には、事前に大会参加費を送金していただくことになっております。ご注意ください。発表原稿送付時に、オンラインで年会費等の納入状況がチェックされます。事前に年会費等の納入をお願いします。なお、大会企画委員会が特に発表を依頼した場合はこの限りではありません。
- ・ ワークショップの主催者は、事前送金締切までに、年会費、大会参加費を納入されていることが、ワークショップ開催の条件となります。
- ・ 維持会員に所属する者は、最大3名まで個人会員として加入しなくても発表ができます(大会参加費はお支払い頂きます)。発表原稿をオンラインで登録できるようにするために、該当する発表者を事前に登録します。07月20日(土)までに大会企画委員会(taikai2013@jset.gr.jp)にご連絡下さい。この期限を過ぎた後の受付はできませんので、ご注意ください。

(2) 発表申し込み件数の制限

- ・ 会員は、[課題研究・一般研究・International Session]に、それぞれ1件(1人合計最大3件)を発表者として申し込むことができます。さらに、ワークショップ1件を主催できます。
- ・ 発表者でない連名者の件数には、制限はありません。
- ・ 類似の内容、シリーズ的な内容を複数の発表者に分割して申し込むことはできません。同一発表者が課題研究と一般研究に申し込む場合も同様です。
- ・ 課題研究は不採択になることがあります。その場合は[一般研究]として申し込むことができますが、既に別の発表を一般研究に申し込んでいる場合には、それを取り下げる必要があります。

(3) 課題研究の発表申し込み方法

課題研究については次のように2段階の手続きが必要です。

1) 第1段階：発表プロポーザルの提出

- ・ 発表プロポーザルを、06月27日(木)17:00までに提出して下さい。
- ・ ページ数はA4版2～4ページとします。フォーマットは特に定めておりません。
- ・ プロポーザルの提出は、オンライン(Web)受付のみとします。具体的なURLならびに詳しい手続きについては、JSETホームページの大会関係部分でお伝えします。
- ・ 課題研究に申し込まれた発表プロポーザルにより、大会企画委員会が発表の可否について審査します。発表の可否は、発表内容だけでなく、セッション全体の発表件数も考慮して決められます。
- ・ 課題研究発表の採否は、07月11日(木)までに申し込み者に連絡します。

2) 第2段階：最終原稿の提出

- ・ 課題研究に採択された場合、最終原稿を、07月23日(火)17:00までに、JSETホームページ大会関係部分から提出して下さい。
- ・ ページ数はA4サイズで2又は4ページです。必ず偶数ページにして下さい。JSETホームページ大会関係部分に示される内容に従って作成して下さい。
- ・ 発表時間の希望には応じられません。

(4) 一般研究およびInternational Sessionの発表申し込み方法

- ・ 07月23日（火）17:00までに、JSETホームページ大会関係部分から原稿ファイルを提出して下さい。
事前の発表申し込みはありません。この提出によって発表申し込みとします。
- ・ 一般研究とInternational Sessionの原稿は共に、A4サイズで2ページです。1ページのものは受け付けません。JSET大会ホームページに示される指定に従って作成して下さい。
発表日時の希望には応じられません。また、発表者及び連名者には、大会企画委員会より「座長」の依頼を受けた場合には、それをご担当いただきますので、予めご了承下さい。

(5) CD-ROMの作成について

今大会では、論文誌として、論文本文の文字列検索が可能なCD-ROM (PDFファイル) を作成します。昨年と同様に、ファイル提出時の注意にしたがって提出して下さい。

(6) 発表取り消しについて

やむを得ない事情で発表を取り消す場合には、すみやかに、大会企画委員会 (taikai2013@jset.gr.jp) までご連絡下さい。 その場合には、論文集に原稿が掲載されていても、発表者の業績としてみなすことはできません（学会から提供する発表リストから削除します）。なお、ポスター発表については、ポスターを掲示していても発表者が会場にいない場合は、発表取り消しとなりますので、ご注意下さい。

【重要】 原稿ファイルの提出に関するお願い

論文集のCD-ROMは、論文本文中の文字列の検索が可能になる方法で作成します。このために、次のご協力をお願いいたします。

PDF/X-1a 形式による提出： (PDF/X-1a 形式の説明は：<http://www.jset.gr.jp/taikai28/>)

PDF/X-1a 形式で提出していただきます。また、PDFだけでなく、元ファイル (MS-Word 形式や一太郎形式のファイル) も提出して下さい。TeX で作成される場合でも、フォントの埋め込み処理が行われていないことがありますので、ソースファイルすべてをひとまとめにして (アーカイブ形式等)、提出して下さい。

【注意】

1. 原稿サイズ A4 版を B5 版に縮小して印刷します。細い線が消えてしまう場合がありますので、細すぎないように注意して下さい。
2. PDF 作成時に、図表やキャプションの位置が意図しない場所に移動することがあります。作成した PDF を印刷してチェックしたのち、投稿して下さい。
3. PDF にフォントが埋め込まれているか自信がない場合には、一般的なフォント、文字コードを利用して下さい。文字コードによっては、検索できない場合もあります。
4. 大会ホームページに掲載される方法に従ってファイルを作成して下さい。提出していただいたファイルの書式や文字化け等のチェック作業は、大会企画委員会では一切行いません。

13. 大会の参加申し込み及び受付等について

大会に参加を希望される方は、以下の手順に従って申し込みをお願いします。

(1) 参加費等について

前回大会から、参加費に CD-ROM 版の論文集を含むことになりました。いずれのカテゴリーの参加費も、従来の冊子版のプログラムと CD-ROM 版の論文集が含まれます。

事前に参加費等を送金される場合は、以下の金額を、事前支払期限までに送金して下さい。事前支払期限は、発表者の場合、郵便振替の場合もクレジットカード支払いの場合も07月23日(火)です。発表者以外の方は、郵便振替の場合もクレジットカード支払いの場合も08月27日(火)です。

参加費（冊子体プログラムとCD-ROM版の講演論文集を含む）

正・准・名誉会員	8,000円（当日は10,000円）
学生会員	2,000円（当日は4,000円）
非会員	9,000円（当日は12,000円）
非会員の学生	4,000円（当日は6,000円）
懇親会費	5,000円（当日は6,000円）
講演論文集代	8,000円（冊子体のみ） 4,000円（CD-ROM版のみ） 10,000円（冊子体+CD-ROM版）
講演論文集送料	1,000円（冊子体が含まれる場合） 500円（CD-ROM版のみの場合）

参加費には、プログラム冊子およびCD-ROM版講演論文集代を含みます。参加費には、昼食費等の食事は含まれておりません。ランチセッションは、企業からの協賛費用から先着150名にお弁当を提供するもので、参加費とは無関係です。

事前支払期限以降に送金された場合は、当日参加の場合との差額を会場でお支払いいただきます。なお、事前支払期限までに発表者の参加費及び2013年度会費の納入が確認できない場合は、発表は取り消しとなりますので、ご注意ください。

08月27日(火)までの変更については、[大会企画委員会 \(taikai2013@jset.gr.jp\)](mailto:taikai2013@jset.gr.jp) までご連絡下さい。送金なさった分を次年度の年会費に振り替えることができます。返金はしません。非会員の場合は入会をしていただくこととなります。この日以降は、変更を連絡いただいても、原則として振り替え等ができないことをご了解下さい。

大会参加費を事前に送金したけれども、学会事務局に連絡することなく、大会に参加されなかった場合には、その旨を[大会企画委員会 \(taikai2013@jset.gr.jp\)](mailto:taikai2013@jset.gr.jp) までご連絡下さい。プログラムとCD-ROM版論文集をお送りします。

卒業見込み年月が過ぎた学生会員で継続の連絡がない場合は、「准会員」に会員種別が変更されています。学生会員としての特典はありませんので、ご注意ください。

(2) 事前の送金と参加登録について

会員と非会員で参加費等が異なります。JSET大会ホームページ (<http://www.jset.gr.jp/taikai29/>) の「参加申し込み」ページにアクセスして下さい。その画面で、①正会員・准会員・名誉会員の場合、②学生会員の場合、③非会員の場合、④非会員の学生の場合を選択できますので、それぞれの場合の説明に従って参加登録と送金手続きをお願いします。

また、送金方法として、3つの方法が準備されます。それらは、①クレジットカードによる支払い、②郵便振替、③当日会場で現金で支払いです。

①「クレジットカードによる支払い」の場合

- ・ 前述の「参加申し込み」ページで、「クレジットカードによる支払い」を選択して下さい。

- ・ただし、その際には学会から発行してご連絡してあります ID・パスワードが必要です。パスワードをお忘れになった場合は再発行いたしますので、大会企画委員会 (taikai2013@jset.gr.jp) に、電子メールでご連絡下さい。

- ・その後表示される指示に従って、手続きをお願いします。

②「郵便振替」の場合

- ・会員が郵便振替で送金される場合も、「参加申し込み」ページで、「郵便振替」を選択して下さい。
- ・その後表示される指示に従って、手続きをお願いします。その際表示される金額と送金内容を、学会からニューズレターと一緒にお送りする郵便振替用紙に記入して、郵便局の窓口から送金して下さい。なお、必ず会員番号をお書き下さい。

- ・郵便局窓口で送金されてから学会のデータベースに入力されるまで、1週間から10日かかります。
- ・不足料金がある場合、電子メールアドレスがわかる方にはできるだけ事前に連絡しますが、全員にはご連絡できないことも想定されますので、十分ご注意下さい。

③「当日会場で現金で支払い」の場合の事前登録

- ・「当日会場で現金で支払い」の場合でも、参加登録を事前に行っていただきますと、会場での受付が非常に簡便になります。
- ・この場合、「参加申し込み」ページで「当日会場で現金で支払い」を選択して下さい。
- ・その後表示される指示に従って、手続きをお願いします。
- ・登録内容が自動的にメールで送信されますので、それをプリントして当日会場受付にお出し下さい。当日参加票に記入する必要がなくなります。

(3) 大会受付票等の送付について

- ・クレジットカード支払い、あるいは郵便振替で事前送金された参加者には、09月上旬までに、「大会受付票」「大会参加証(名札用)」「領収書」を電子メールの添付書類でお送りします。
- ・大会当日は、電子メールで送られた「大会受付票」等をプリントしてお持ち下さい。
- ・ただし、電子メールアドレスが登録されていない会員には、大会受付票等が送られませんので、当日会場に掲示される「事前送金者リスト」で番号を確認の上、その旨お申し出下さい。

(4) 当日の受付について

(a) 事前送金済みの場合

- ・大会受付の「事前送金済参加者」窓口で、電子メールでお送りした「大会受付票」をお渡し下さい。
- ・大会プログラム、大会論文集等をお渡しします。
- ・プリントして持参していただいた「大会参加証(名札用)」を名札ケースにお入れ下さい。
- ・大会受付票をお忘れになる場合に備えて、できれば受付番号をメモしておいて下さい。
- ・大会受付票を持参されなかった方は、「当日会場に掲示される「事前送金者リスト」で番号を確認の上「事前送金済参加者」窓口にて、その旨、お申し出下さい。
- ・送金金額に不足があり、大会当日に差額をお支払いいただく場合は、「総合受付」でお受けします。

(b) 当日参加の場合

- ・当日参加者は、大会受付にて、「当日参加受付票」に必要事項を記入して、それを大会受付の「当日参加者」窓口にてお渡し下さい(名刺をお渡し下さる場合は、連絡先住所等の記入を省略することができます)。

- ・ただし、学会ホームページから参加登録を行った会員は、自動送信されたメールをプリントしてお持ち下さい。会場で「当日参加受付票」に記入していただく必要がなくなります。
- ・お支払いいただいた金額に応じて、大会プログラム、大会論文集等をお渡しします。
- ・名札ケースに名刺を入れるか、お名前をカードに書いて入れて下さい。
- ・懇親会費を支払われた場合は、名札にマークを貼らせて頂きます。

14. 会場の設備について

口頭発表のすべての会場で、コンピュータの画面を投影できる設備（プロジェクタ）が利用可能です。なお、貸出用コンピュータやOHP、実物投影装置は用意しません。また、インターネットにアクセスできる環境は用意されておられません。機器の利用確認は、当該の発表セッション開始5分前までに発表者の責任で完了して下さい。また、コンピュータから音声を出す場合は、スピーカーを発表者自身でご用意下さい。

ポスター発表の会場では、幅90cm・高さ180cm程度のポスター掲示用パネルを用意する予定です。また、パネル前に机（高さ70cm程度）を用意しますので、配布資料やデモンストレーション用のパソコン等を置くことが可能です。また、インターネットにアクセスできる環境は用意されておられません。さらに、電源は用意されていませんので、それを前提にした発表準備をお願いいたします。

15. 企業の展示について

大会期間中、企業による製品等の展示も行います。今年は、企業ランチセッションを初日の昼に開催いたします。企業ブースへの出展企業から各3分程度のプレゼンテーションをして頂きます。参加者には、先着150名程度（予定）にランチを無料で提供します。企業展示スペースでは、09月21日（土）にババヘアアイス、09月22日（日）に稲庭うどんを無料で配布いたします。この機会に、企業展示スペースにお立ち寄りいただき、ご賞味下さい。

出展、ならびに大会プログラム等における広告を募集いたしますので、ご希望の方は大会企画委員会企業展示ワーキンググループ（tenji@jset.gr.jp）へお問い合わせ下さい。

16. 宿泊について

大会実行委員会から斡旋はいたしません。各自で手配をお願いいたします。09月18日（水）から20日（金）まで秋田大学では、大きな学会が開催されることが決まっています。ホテルのご予約はお早めに確保されることをお勧めいたします。

17. 問い合わせ先

大会全般に関しては以下にお問い合わせ下さい。

大会企画委員会　問い合わせ用電子メールアドレス：taikai2013@jset.gr.jp

大会企画委員会

委員長：美馬のゆり（公立ほこだて未来大学）

副委員長（五十音順，以下同様）：寺嶋浩介（長崎大学），前迫孝憲（大阪大学），室田真男（東京工業大学）

幹事：今野貴之（目白大学），舟生日出男（創価大学），松河秀哉（大阪大学），渡辺雄貴（首都大学東京）

委員：稲垣忠（東北学院大学），江木啓訓（神戸大学），緒方広明（徳島大学），黒田卓（富山大学），
後藤康志（新潟大学），佐藤喜信（内田洋行），重田勝介（北海道大学），鈴木栄幸（茨城大学），
豊田充崇（和歌山大学），根本淳子（熊本大学），長谷川元洋（金城学院大学），
飛弾信崇（ベネッセコーポレーション），姫野完治（秋田大学），藤川大祐（千葉大学），
藤本徹（東京大学），益子典文（岐阜大学），森下耕治（光村図書），森本康彦（東京学芸大学）

担当副会長：中山実（東京工業大学）

オブザーバ：山西潤一（富山大学）

大会実行委員会

委員長：浦野 弘（秋田大学）

委員（五十音順）：上田晴彦（秋田大学），川村教一（秋田大学），佐々木芳宏（秋田大学），
玉本英夫（秋田大学），辻 高明（秋田大学），濱田 陽（秋田大学），林 良雄（秋田大学），
姫野完治（秋田大学），藤垣雅明（秋田大学），細川和仁（秋田大学），吉崎弘一（秋田大学）

2013年 日本教育工学会 夏の合宿研究会 案内（最終報）

教員養成の実習の場でもある附属学校では、その他の役割として、先導的・実験的な取り組みや検証、地域の教育の「モデル校」として地域の教員の資質・能力の向上や教育活動の推進に寄与することが期待されています。

今回の夏の合宿研究会では、今注目されているタブレット端末活用をテーマとし、附属学校で先駆的に実践されている取り組みを紹介するとともに、講演や議論を通じて交流の場を設定したいと思います。

附属学校の取り組みを通じてタブレット端末の活用に関心のある学校現場の先生方や研究者との活発な議論ができる研究会にしたいと思いますので、多くの方々の参加を期待しております。

■テーマ：「附属学校の取り組みから考えるタブレット端末の活用」

日時 2013年07月27日（土）13:00～28日（日）12:00

共催 信州大学教育学部

後援 長野県教育委員会

対象 学校教育に関わる実践者（初等中等教育の教員）、研究者、学生、その他教育関係者。

参加費 1,000円（予定）当日の資料代含む（情報交換会の参加費は別途徴収させていただきます。）

■プログラムの概要 ※詳細は、下記 Web サイトでご確認下さい。

【1日目】07月27日（土）（受付開始 12:30）

- 13:00～ 開会
- 13:10～14:20 附属学校での取り組み・事例紹介その1
- 14:20～14:40 デジタル屋台1
- 14:40～15:40 附属学校での取り組み・事例紹介その2
- 15:45～16:15 デジタル屋台2
- 16:15～16:50 フリートーク1「附属学校でのICT活用における課題と展望」
- 16:50～17:20 ショートスピーチ「海外の教育の情報化・最新事情」大久保昇（企画委員長）
- 17:30 閉会
- 18:30～20:30 情報交換会（JR長野駅周辺を予定しています）

※宮教大、学芸大、横国大、新潟大、上教大、奈教大、信州大の各附属校からご発表いただく予定です。

※デジタル屋台では、いくつかの企業より、各社開発のデジタル教科書・ツールのデモと共に、目指す学びの姿と設計思想などもご紹介いただく予定です。

【2日目】07月28日（日）（受付開始 09:00）

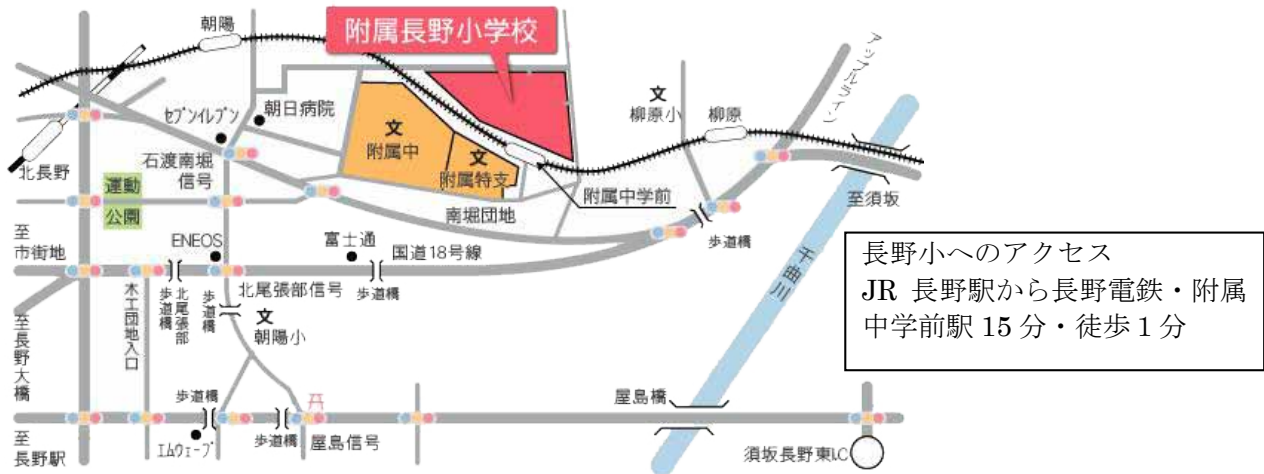
- 09:25～ 開会
- 09:30～10:00 21世紀に求められる能力を育成する教員養成・教員研修の取り組み・事例紹介
- 10:00～10:50 講演「21世紀型スキルと教員養成・研修」益川弘如（静岡大学大学院教育学研究科）
- 11:00～11:50 フリートーク2「21世紀型スキルと教員養成・研修における課題と展望」
- 12:00 終了

■会場：日にちによって会場が異なります。

07月27日（土）信州大学教育学部附属長野小学校（学習センター）

〒381-0016 長野市南堀 77-1 TEL:026-251-3350

<http://cert.shinshu-u.ac.jp/sch/sho/fnagano/>



07月28日（日）信州大学教育学部（N301 教室）

〒380-8544 長野市西長野6の口 TEL:026-238-4000

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>



■申し込み先 http://www.mura-lab.info/jset_camp2013/

■問い合わせ先 村松浩幸（信州大学）上記 URL からお問い合わせ下さい。

日本教育工学会研究会

<http://www.jset.gr.jp/study-group/>

研究会の開催



テーマ 大学教育への教育工学的アプローチ／一般

- 日 時：2013年07月06日（土）
 - 会 場：岩手大学 学生センターA棟 G1 大教室, G2 大教室
(〒020-8550 盛岡市上田 3-18-34)
 - 担 当：江本理恵 (riemt@iwate-u.ac.jp)
-

プログラム

発表時間：発表1件につき24分（発表19分，質疑5分）

A会場(G1大教室)，B会場(G2大教室)

09:55-10:00 諸連絡

10:00-12:05 午前の部

- A1) インストラクショナルデザインに基づくキャリア教育授業設計支援ツールの開発
桑原千幸（京都文教短期大学／熊本大学大学院），
喜多敏博，合田美子，鈴木克明（熊本大学大学院）
 - A2) 高等教育機関におけるプロジェクト型学習設計支援ツールの開発と形成的評価の試み
上田勇仁（株式会社レビックグローバル），根本淳子，鈴木克明，合田美子（熊本大学大学院）
 - A3) 学習者の表出行動に基づく授業過程の分析と評価
須田昂宏（名古屋大学大学院）
 - A4) 大学間連携におけるソーシャルラーニングのためのコモンルーブリック開発
七田麻美子，森朋子，鹿住大助，土屋衛治郎，松田岳士（島根大学）
 - A5) 大学の課外プロジェクト「ナショナルウィーク」の実践と学生の活動
村上正行，野澤元（京都外国語大学），河野弘美（京都外国語短期大学），
相川真佐夫（京都外国語大学），
-

- B1) 現職教育におけるメディア情報リテラシーの現状と課題
吉田雅巳（千葉大学大学院）
- B2) Effects of Paulo Freire Theory to Media Information Literacy
リアル・ジョナタ（千葉大学）
- B3) 情報モラル指導の内容や頻度による「ネットモラルけんてい」の正答率への影響
高橋純，高坂貴宏（富山大学），堀田龍也（玉川大学大学院），平松茂（環太平洋大学），
桐野志摩美（広島教販）
- B4) 授業におけるICT活用の頻度や普通教室の整備と小中高校教師の意識との関係
清水康敬（東京工業大学），小泉力一（尚美学園大学）
- B5) 年収と情報リテラシーに関する意識調査
加納寛子（山形大学）

13:05-13:10 委員会挨拶・諸連絡

13:10-14:50 午後の部-第一部

- A6) 地域を巻き込むFD - 「英語教育お助けサイト」の構築
松本佳穂子（東海大学）
 - A7) 学習過程を重視したプログラミング作問学習のメタ学習ラボにおける実践と評価
-

-
- 小泉ふゆか（公立はこだて未来大学大学院），椿本弥生（公立はこだて未来大学）
- A8) eラーニング授業とブレンド型授業における授業構成要素が授業評価と学習成績に及ぼす影響
渡邊文枝（早稲田大学大学院），向後千春（早稲田大学）
- A9) 教材設計基礎科目における『教材企画書チェックリスト』に基づいた受講者相互評価の分析
高橋暁子，根本淳子，鈴木克明（熊本大学大学院）
-

- B6) 大学生の著作権教育に関する実践について
竹内達哉（横浜国立大学大学院），山本光（横浜国立大学）
- B7) 教師の授業について信念と国際交流学習のデザインに関する研究
今野貴之（目白大学）
- B8) 生徒の創新活動における知財教育実践
吉日嘎拉（内蒙古師範大学），世良清（三重大学大学院／三重県立津商業高等学校）
- B9) 高校工業科教員免許状を取得するため「職業指導」を履修する学生の動向
世良清（三重大学大学院／三重県立津商業高等学校）

15:05-17:10 午後の部-第二部

- A10) 中学生のルールメイキングにおける智恵の創出過程を用いた学習効果に関する予備的考察
奥田麻衣（早稲田大学），荻野太司（昭和女子大学）
- A11) 教育現場におけるオンライン協同作業を志向したマニュアル作成
中村雅子（大阪大学），孫帙，スペンス・ゼオースキ，前迫孝憲（大阪大学大学院）
- A12) 教授活動ゲームの学習者モデル記述機能の検討
松田稔樹（東京工業大学大学院）
- A13) 『小学生用 IDEA CARD』を活用した児童の対話の試み（2）
加賀秀和（秋田大学大学院），浦野弘（秋田大学）
- A14) 社会ネットワーク分析を用いた e ポートフォリオ学習におけるピア・アセスメント活動状況把握の検討
島崎俊介，森本康彦，宮寺庸造（東京学芸大学）

-
- 発表時間：当研究会は会員・非会員による討論の場を作ることを目的として開催しております。討論時間を確保するために、持ち時間 24 分において質疑応答の時間を 5 分以上は確保していただいております。よろしくご理解願います。
 - 参加費用：参加費は無料です。研究会報告集の年間予約購読代金（3,500 円）を支払済みの本学会会員以外の方は、報告集代として 1,000 円を当日受付にてお支払い下さい。また、当日受付にて年間予約購読の申込みも可能です。尚、年会費には研究会報告集の年間購読代金は含まれておりません。
 - 交通案内：JR 盛岡駅から岩手県交通バスで
 - 駅上田線「盛岡駅」→（松園バスターミナル行き）→「岩手大学前」下車
 - 駅桜台団地線「盛岡駅」→（桜台団地行き）→「岩手大学前」下車JR 盛岡駅から徒歩約 30 分（<http://www.iwate-u.ac.jp/campusannai/ueda1.shtml>）
 - 昼食案内：キャンパス内にある大学生協（食堂・売店）が営業しています。
 - 情報交換会のご案内：研究会終了後、情報交換会を開催予定です。（詳細は研究会 Web ページで）
-

研究会の発表募集

テーマ： 新時代の学習評価／一般

- 日 時：2013年10月26日（土）
- 会場：兵庫医科大学（担当：藤原康宏）
- 申込締切：2013年08月25日（日）
- 原稿提出：2013年09月15日（日）

●募集内容：

本学会論文誌では、2011年12月に「新時代の学習評価」と題した特集号を発行しました。近年の学習評価の研究では、真正な文脈における評価を意識した理論研究、システム開発、教育実践が行われています。評価手法は、ペーパーテストから、ポートフォリオ、ピア・アセスメント、ダイナミック・アセスメントなどに多様化しており、それらを効果的に運用するためのeポートフォリオやeテストなどのシステムも開発されています。

そこで、本研究会では、教育学における学習評価の研究が、次世代の学習環境にどのように貢献できるかについて、議論したいと思います。また、従来通り、上記テーマにこだわらず教育学一般の発表も募集します。

●申込方法：研究会 Web ページよりお申し込み下さい。

●原稿執筆：締切後1週間以内に、申込時に登録されたアドレスに発表の採択結果と執筆要項を電子メールにて送付いたします。

●原稿提出：原稿の提出は PDF 形式で、研究会 Web ページの「発表申込フォーム」より、発表申込時に発行された「受付キー」を使用してご登録下さい。尚、期限までに提出いただけない場合は、発表取消となりますのでご注意ください。

2013年度の研究会のご案内

2013年	会場	申込締切	原稿提出締切
12月14日（土）	エンタテインメントを活用した教育／一般 徳島大学	10月13日（日）	11月03日（日）
2014年			
03月01日（土）	教師教育と授業研究／一般 愛知工業大学	01月05日（日）	01月26日（日）

年間予約購読のお勧め

●年間購読：年5回発行される研究会報告集の年間予約購読価格は郵送料込みで3,500円です（当日売りは1冊1,000円と割高になります）。研究会の受付でも年間購読を受け付けております。

研究会の開催報告

- 日 時：2013年05月18日
- 会場：長崎大学
- 発表件数：26件
- 参加者数：59名（内非会員11名）

昨年度全国大会に引き続き、研究会が実施されました。研究会としては2006年以来、久しぶりの開催となりました。本学会では、日常的に教育研修に取り組みながらも、それを研究として対象化されている方が多いことを踏まえて、今回のテーマを設定しました。

大学でのFD研修、初等・中等教育における教育センターでの研修等の発表がありました。実践については形成的に評価されることにより、よりよいものが生み出されている様子がうかがえました。研究としてモデル化されるためには、研修の改善のために、どのようなデータを収集すればよいか、知見としてどう一般化していけばよいのかというのが課題として残されたように思います。校種等の特殊性はあるにしても、教育学の分野では、それらの枠組みを越えて議論できるという利点もあるので、このメリットを生かした学会大会や研究会が今後も実施されることを期待しております。

担当：寺嶋浩介（長崎大学）



日本教育工学会論文誌 特集号 論文募集

「特集：1人1台端末時代の学習環境と学習支援」のご案内（第二報）

ノート PC やタブレット PC, スマートフォンなどの情報端末の所有率が高くなり, 各自が端末を持ち歩く時代を迎えています. これを受けて, 小・中・高等学校, 大学等の高等教育機関, 企業等において, これらの1人1台端末による学習環境に高い関心が集まっています. そのため, 1人1台端末を活用した実践, 環境整備における機種選定や空間配置などの配慮事項, 学習用コンテンツの提供方法, 学習者に求められる情報活用能力, 学習履歴の活用, 整備された学習環境における ICT 支援員の役割, 従来の学習環境と比較した場合の学習効果などに関する研究成果が期待されています.

本特集号では, 拡大しつつある1人1台端末時代の学習環境と学習支援に関する研究成果を募集します.

1.対象分野

- (1) 1人1台端末を前提とした授業設計, 学習環境デザイン
- (2) 1人1台端末を前提とした学習用コンテンツの開発と提供方法
- (3) 1人1台端末を前提としたソフトウェア・教育システムの開発
- (4) 1人1台端末を活用した授業実践とその効果
- (5) 1人1台端末を活用した講義配信, 反転授業, 協調学習, アクティブラーニング
- (6) 1人1台端末におけるソーシャルメディアの利用
- (7) 1人1台端末による学習履歴の活用などの学習評価の方法
- (8) 1人1台端末の学習環境に求められる教員の ICT 活用指導力
- (9) 1人1台端末の活用を対象とした教員養成・研修プログラム
- (10) 1人1台端末の学習環境における ICT 支援員の役割

2.募集論文の種類

通常の論文誌と同様に, 「論文」「システム開発論文」「教育実践研究論文」「資料」「寄書」を募集します. それぞれの論文種別については, 投稿規定をご覧ください.

論文の査読は, 通常の論文誌の場合と同じです. ただし, 査読は2回限りとし, 編集委員会が示した掲載の条件を修正原稿で満たさない場合は採録になりません. 「ショートレター」として既に掲載されている内容を発展させて「論文」として投稿することも可能ですが, 単に分量を増やして詳細に説明しただけでは発展させたことになりませんので, ご注意下さい. なお, 本特集号へ投稿された論文が特集号編集委員会にて対象分野外と判断された場合には, 一般論文として扱うこととなりますので, 予めご了承ください.

特集号編集委員会では, 本特集号のテーマの特徴から, 1人1台端末時代の学習環境と学習支援に関する実践を「教育実践研究論文」, あるいは「資料」の条件を満たすようにまとめ, 積極的に投稿していただくことを期待しています.

3.論文投稿締切日 (2014年11月発行予定)

投稿原稿を02月05日(水)までに電子投稿をお願いします. ただし, 02月12日(水)までは, 論文を改訂することができます. 締切の延長は行わない方針です.

投稿原稿提出締切 (電子投稿): 2014年02月05日(水)

最終原稿提出締切 (電子投稿): 2014年02月12日(水)

4.論文投稿の仕方

原稿は、「原稿執筆の手引」(<http://www.jset.gr.jp/thesis/index.html>)に従って執筆し、学会ホームページの会員専用 Web サイトから電子投稿して下さい。郵送による投稿は受け付けないことになりました。

5.問い合わせ先

日本教育工学会事務局

Tel/Fax : 03-5740-9505

電子メール : tokushu2014@jset.gr.jp

6.特集号編集委員会

編集委員長 :

堀田龍也 (玉川大学)

副編集委員長 :

小柳和喜雄 (奈良教育大学)

山内祐平 (東京大学)

編集幹事 :

望月俊男 (専修大学)

森本康彦 (東京学芸大学)

委員 :

稲垣 忠 (東北学院大学)

緒方広明 (徳島大学)

加藤 浩 (放送大学)

木原俊行 (大阪教育大学)

向後千春 (早稲田大学)

清水康敬 (東京工業大学)

鈴木克明 (熊本大学)

高橋 純 (富山大学)

寺嶋浩介 (長崎大学)

中橋 雄 (武蔵大学)

東原義訓 (信州大学)

村上正行 (京都外国語大学)

矢野米雄 (徳島文理大学)

山田政寛 (九州大学)

渡辺健次 (広島大学)

新入会員

(2013年02月21日～2013年05月02日) 62名 (正会員：30名, 准会員：7名, 学生会員：25名)

■正会員 (30名)

標葉靖子 (大阪大学)
肴倉隆介
土肥美子 (京都光華女子大学)
毛利隆夫 (富士通研究所)
西森 寛
近藤千香
(東京工業大学附属科学技術高等学校)
北川昌子
佐藤昭宏 (ベネッセコーポレーション)
横田亮宏
高橋直明 (神奈川県立高浜高校)
山本正平
松本竜也 (富山市立大沢野小学校)
小池亜子 (国土舘大学)
佐藤幸子
渡辺友美 (独立行政法人土木研究所)
稲垣俊介
(東京都立桜修館中等教育学校)
大竹奈津子 (愛媛大学)
本吉達郎 (富山県立大学)
内藤隆宏 (筑波大学)
荒井俊行
山本三雄

興戸律子 (岐阜大学)
磯田貴道 (立命館大学)
山森光陽 (国立教育政策研究所)
庄内亨 (日立製作所)
下山田隆 (大町町立大町中学校)
館田美保
石田隆志
(沖縄リハビリテーション福祉学院)
堀出雅人 (京都華頂大学)
武藤英理 (大垣女子短期大学)

■准会員 (7名)

村上タカシ (宮城教育大学)
竹中正
奥典宏 (神奈川県立足柄上病院)
根本まり子 (熊本県立教育センター)
神田憲興 (磐田市立神明中学校)
河合正徳 (立命館アジア太平洋大学)
大谷昌也

■学生会員 (25名)

早坂昌子 (早稲田大学)
楊成寧 (中部大学)
鈴木伸子 (熊本大学大学院)

黒田友貴 (愛媛大学大学院)
上島洸太 (東京学芸大学)
陳姿良 (國立台中教育大學)
岡野貴誠 (早稲田大学)
伊藤尚也 (上智大学大学院)
平田英一郎 (東京学芸大学大学院)
梶浦美咲 (東京大学大学院)
岩崎太郎 (早稲田大学)
高澤郁男 (上越教育大学教職大学院)
橋爪智哲 (上越教育大学教職大学院)
丸山悟 (上越教育大学大学院)
茂野賢治 (東京大学大学院)
寺下和也 (早稲田大学)
向井季之 (早稲田大学大学院)
山内薫 (早稲田大学大学院)
前田菜摘 (早稲田大学大学院)
小松英美子 (早稲田大学大学院)
欧麗賢 (大阪大学大学院)
星野俊樹 (京都大学大学院)
酒井美枝 (早稲田大学)
西野毅朗 (同志社大学大学院)
荒川明美 (早稲田大学)

◎学会日誌

2013年

- ・2013年07月06日(土)
研究会「大学教育への教育工学的アプローチ」(岩手大学)
- ・2013年07月27日(土)～28日(日)
夏の合宿研究会「附属学校の取り組みから考えるタブレット端末の活用」
(信州大学教育学部附属長野小学校, 信州大学)
- ・2013年09月20日(金)～23日(月)
第29回全国大会(秋田大学 手形キャンパス)
- ・2013年10月26日(土)
研究会「新時代の学習評価」(兵庫医科大学)
- ・2013年12月14日(土)
研究会「エンタテインメントを活用した教育」(徳島大学)

2014年

- ・2014年03月01日(土)
研究会「教師教育と授業研究」(愛知工業大学)

◎国際会議の案内

2013年

- ・ICEL 2013
<http://academic-conferences.org/icel/icel2013/icel13-call-papers.htm>
(06/27-28, Cape Town, South Africa)
- ・HCI International 2013
<http://www.hcii2013.org/>
(07/21-26, Las Vegas, USA)
- ・ICWL 2013
<http://icwl2013.tajen.edu.tw/>
(10/6-9, Kaohsiung, Taiwan)
- ・E-LEARN 2013
<http://www.aace.org/conf/elearn/>
(10/21-25, Las Vegas, USA)
- ・ICCE 2013
<http://icce2013bali.org/>
(11/18-22, Bali, Indonesia)

2014年

- ・SITE 2014
<http://site.aace.org/>
(3/17-24, Jacksonville, USA)

お問い合わせ先 E-mail

- 論文投稿に関するお問い合わせ
編集委員会 editor@jset.gr.jp
- 研究会の開催についてのお問い合わせ
研究会事務局 study-group-core@jset.gr.jp
- 全国大会の開催についてのお問い合わせ
大会企画委員会 taikai2013@jset.gr.jp
- 合宿研究会やシンポジウムの開催についてのお問い合わせ
企画委員会 kikaku@jset.gr.jp
- ニュースレター編集に関するお問い合わせ
広報委員会 kouhou@jset.gr.jp
- その他のお問い合わせ
学会事務局 office@jset.gr.jp

広報委員会

編集長：清水 康敬(東京工業大学)
担当副会長：永岡 慶三(早稲田大学)
広報委員長：南部 昌敏(上越教育大学)
副委員長：矢野 米雄(徳島大学)
幹事：高橋 純(富山大学)
委員：石塚 丈晴(福岡工業大学短期大学部)
富永 敦子(早稲田大学)
永田 智子(兵庫教育大学)

E-mail : kouhou@jset.gr.jp

発行所●

日本教育工学会事務局
〒141-0031
東京都品川区西五反田1-13-7マルキビル
TEL&FAX 03-5740-9505
E-mail : office@jset.gr.jp
<http://www.jset.gr.jp>
郵便振替00180-2-539055

日本教育工学会ニュースレター
No. 194
2013年6月21日

発行人●会長 永野和男(聖心女子大学)